

ペットの災害避難 絵本作り

動物看護師専攻2年

石原明日香、安井希衣です。よろしくお願いいたします。★

①

私たちは昨年制作でペットの災害時の避難について調べました。

その情報を多くの飼い主様に広めるため、今年は★「動物病院の待合室で読んで頂ける絵本作り」に取り組みました。★

②

手順はこちらです。まず昨年情報をまとめ、絵本の下書きをします。

それを現場で働く獣医師、動物看護師の先生方に見て頂き、ご指摘をもらい、修正を加え実際に絵本を作成します。最終的には実際に動物病院に置き、飼い主様に見て頂きました。

★

③

まず昨年の取り組みを紹介します。ペットの災害時の避難について愛護センターの方にインタビューするなどして情報を集め、実際に災害時を想定したミニ避難訓練を行いました。調べた情報と実際に行ってみて気づいたことをまとめ、絵本製作へうつります。★

④

昨年制作から私たちは「準備の大切さ」「同行避難と同伴非難の違い」の2つに重点を置くことにしました。流れとしては、過去の震災の事例から飼い主様に準備の大切さを実感してもらい、環境省が出している「ガイドライン」を元に実際に必要な準備、避難について紹介していきます。★

⑤

実際の下書きはこちらです。

★

⑥

この下書きを獣医師、動物看護師の先生方に見て頂いたところ、「文字が多い、もっと簡潔に」、「もっと幅広い年齢向けにしたほうが良い」などのご意見を頂きました。これらのご指摘に対し、★「ふりがなをふる。」「文字を減らし、イラストや写真を増やす」などの対策をとり、絵本の清書に取り掛かりました。★

⑦

最終的に出来上がった絵本をご紹介します。

お手元の冊子をご覧ください。

オリジナルキャラクターは「災害」からとって★猫のさいちゃん、★犬のがっくんです。

★

⑧

まず昨年のデータから東日本大震災と熊本地震についてまとめました。★

⑨

ここからはガイドラインを参考に実際に必要な準備について説明していきます。まず同行避難と同伴避難の違いの説明です。同行避難とはペットと飼い主と一緒に避難し、避難所の別々の空間で避難生活を送ること、同伴避難は同行避難同様、一緒に避難した後、同じ空間で避難生活を送ることです。★

⑩

そこから持ち物、★

⑪

しつけについての紹介。

最後には昨年行ったミニ避難訓練のこと、飼い主様へのメッセージとなっています。★

⑫

この絵本を実際に病院へ置いて頂きました。ご協力いただいたのは、家庭動物診療施設 獣徳会様です。絵本と一緒に左のアンケートを置かせて頂きました。★

⑬

アンケートの結果がこちらです。内容のわかりやすさ、知人の方にすすめたいか、避難準備をしようと思ったかの3項目でアンケートをとったところ、すべての項目において、多くの飼い主様から高い評価を頂くことができました。★

⑭

また、コメントがこちらです。

改善点についてはマイクロチップのことをもっと知りたい、チェックリストをつけてほしいなどのコメント。行っている準備については多くの方がフードの準備はしてあるなどの声が多くありました。またその他のコメントではイラストが可愛く子供にも薦めたい、同行・同伴避難の違いが分かったなど、自分たちが改善をしたところを評価していただきました。★

⑮ まとめ

今回、飼い主様がパッと見て分かりやすい絵本を目標していましたが、伝えたい情報が多く、簡単にまとめるのは難しく、とても苦勞しました。★

⑯

しかし、多くの飼い主様の災害時のペットの避難について考えるきっかけとなることのできたこと、★

⑰

また自分たち自身も2年間の制作を通して、一飼い主として、またこれからペット業界で働く一人として理解が深まったことが、今回の成果だと感じています。

制作を通して得たことを、来年から現場で多くの飼い主様に伝えていきたいです。★